

経済倶楽部便り

◆東京◆ 政府や東京都の自粛解除もあり、7月からホールでの講演会を再開しました。ただ、社会的距離を保つ意味からホールの座席数を半減以下にしたほか、入館時の検温、手の消毒なども継続しています。講演終了後はエレベーターに乗る人数も4人までとするなど東洋経済総務部の協力も得ながらの三密対策を励行しています。併せて講演は録画し、終了後にオンラインで配信しています。通常ホールでの講演には180名ほどが参加しますが、現在メールアドレスをお送り頂き、動画が視聴出来るようになって

いる会員の方は200名ほどと、通常の参

加者を超える規模になってきています。

新会員を紹介します。4月の未掲載分は日経印刷社長の廣瀬智氏、5月が日本投資環境研究所社長の熊谷泰治氏、同専務の眞武尚史氏、6月が双日総研社長の坂井一臣氏、細田協佑社取締役の松尾卓氏、帝人専務の園部芳久氏です。

8月の定例講演会は休会となり、9月4日からの再開となります。

◆中部◆ 7月の講師に元日本経済新聞ソウル特派員の鈴置高史氏をお呼びしてお話頂きました。現在は1930年代的な国際協調体制は終わり、米ソ冷戦に替わる米中冷戦の様相を呈しているとして、朝鮮半島情勢の今後について興味深い指摘をされました。

8月の講演会は休会となります。(日暮良一)